

輪島市新図書館整備基本方針（案）

基本理念:本と出会い、人とつながり、多世代が新たな価値観を創造する『知と交流の拠点』

求められる役割
(基本方針)

① ふらっとよれる
みんなの居場所

② 多様な資料と情報を
収集・保存・発信

③ 地域を知り
地域に役立つ場所

④ 読みたい・調べたい・
学びたい方を応援

⑤ 文化創造の拠点

新図書館の
整備基本方針

① 誰でも集え、安心して
やさしい交流の場

- ・だれしながくつろげる空間（静と動の空間など）
- ・ゆっくりできる滞在の場
- ・行き来しやすい館内構造、共用スペース等の有効活用
- ・様々なイベント・体験交流
- ・おしゃべり可能

② 資料や情報提供機能・
調査研究の拠点

- ・図書、資料の収集・保存・発信
- ・学校図書館司書や他の図書館との円滑な連携
- ・レファレンス案内

③ 歴史・文化・産業等を学び
地域課題解決につなげる場

- ・輪島の歴史・文化を保存、収集、提供
- ・輪島を訪れ輪島を知りたい人への情報提供
- ・身近な暮らしの情報提供

④ あらゆる人が
利用しやすく快適な空間

- ・蔵書の充実
- ・わかりやすい開架と快適な閲覧
- ・すべての世代が気軽に本とふれあえる空間
- ・スムーズな検索・貸出・返却など利用しやすいサービス

⑤ まち・ひととつながり
価値観を創造する場

- ・文化創造を支援する場
- ・読書推進ボランティアの拠点
- ・用途に合わせた学習スペースの提供

新図書館の最大の特徴

建設箇所は道の駅に登録されており、交通結節点である。

新図書館の方向性

新図書館に与えられる外的要因

- ・小中高校、保育園・幼稚園が周辺に多い。
- ・大ホール・観光案内施設が隣接。
- ・交通結節点(道の駅)の図書館である。
- ・新図書館には地域交流センター機能も併設。
- ・能越自動車道の IC から下車直後に位置。

+

市民アンケート
整備検討委員会でのご意見
市のまちづくり方針

=

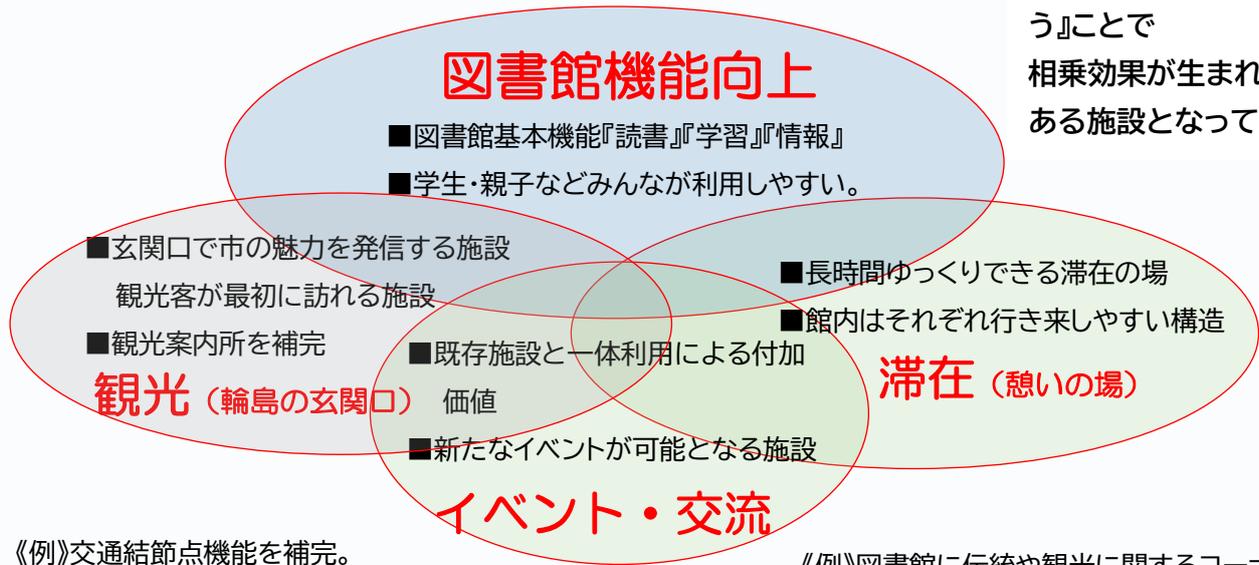
- 利用しやすい図書館
- 多機能化、高機能化
- ゆっくりできる滞在の場
- 観光面の機能も補完

○整備検討委員会のご意見

連絡通路活用、小中学生利用、緊急避難所、開館時間の延長、屋上庭園、共生社会、カフェ飲食、図書館司書の充実、郷土の歴史・地域資料、駐車場など

輪島市新図書館整備コンセプト図

4つのコンセプトが『まじりあい』『影響しあう』ことで相乗効果が生まれ、魅力ある施設となっていく。



《例》交通結節点機能を補完。

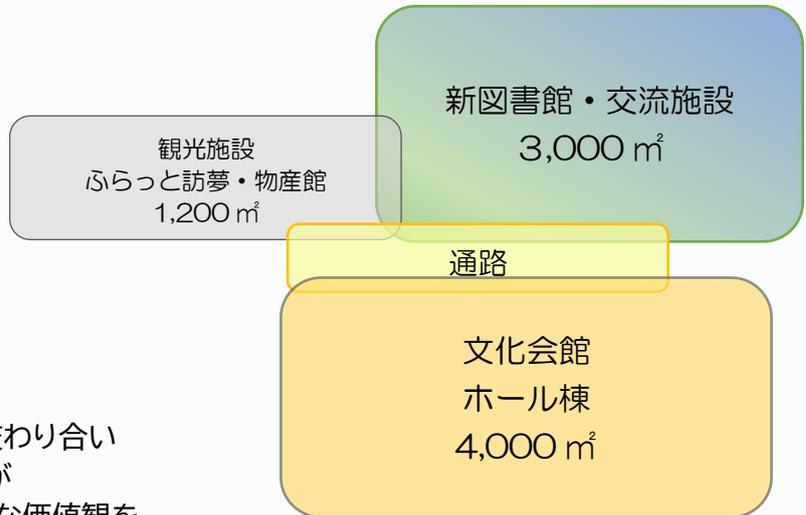
バス待ちの客が滞在しやすい構造、連絡通路等の有効活用
 →本との触れ合うきっかけ作りや、すき間時間の解消

《例》図書館に伝統や観光に関するコーナーの充実、観光客に情報発信を行う。
 →間接的に図書館を利用する子どもたちの伝統文化教育が充実、輪島を知る

輪島市新図書館整備ゾーニングイメージ図

新しく提供したい機能
 「人とつながる、交わる」
 自分と向き合う時間と居場所
 歴史文化など情報資源の保持開示

※図書館及び交流施設を拠点に、交わり合い本を通じて市民・地域の人・観光客がつながり知識や経験を共有し、新たな価値観を創造していく『知と交流の拠点』



伝統と文化の薫り高い輪島に相応しい図書館

【立面イメージ図】

